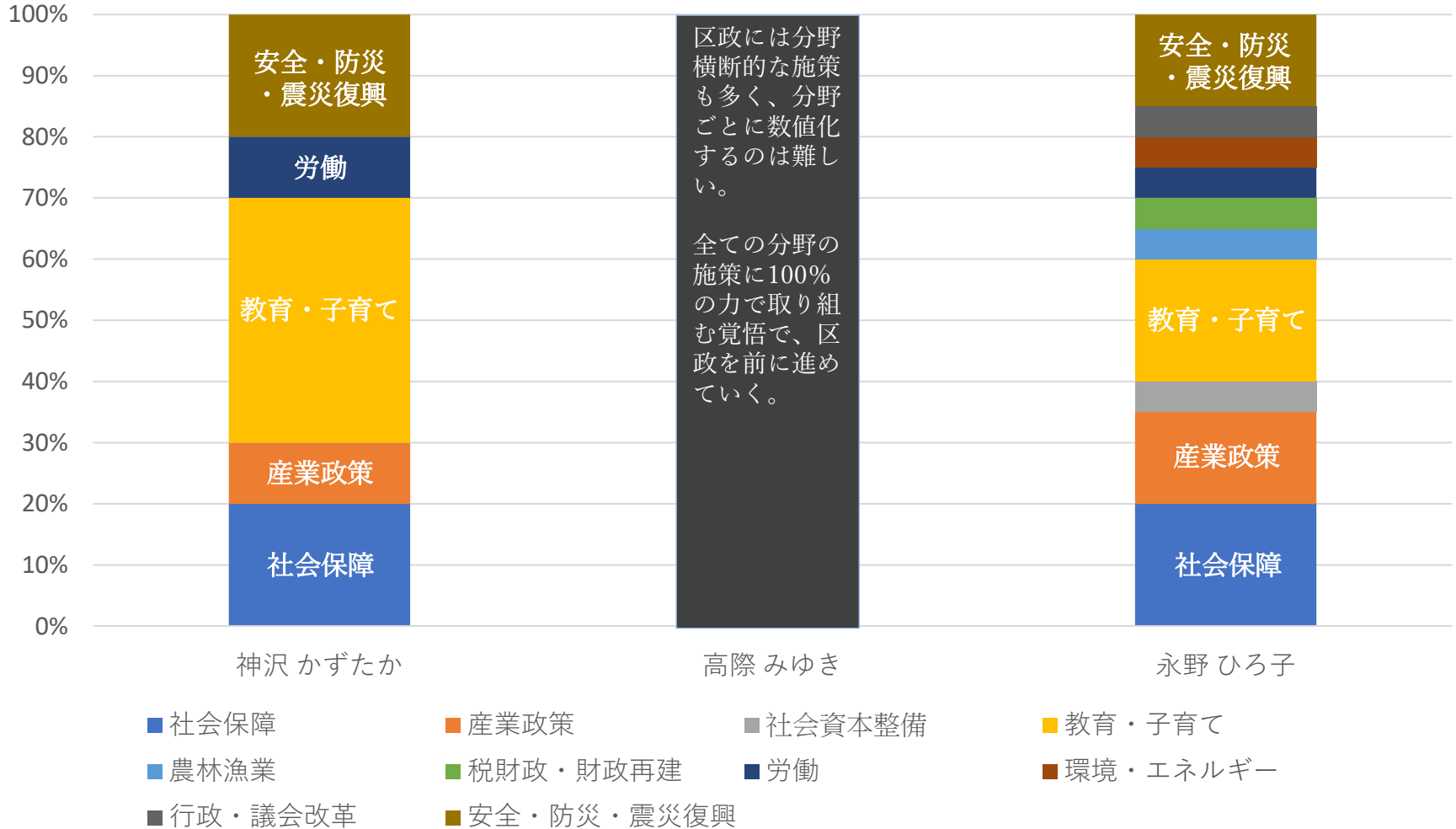


# 豊島区長選挙ネット討論会 政策比較表

## 政策分野の注力度

(予算を100ポイント持っているとしたときに、各分野への配分)



# 豊島区長選挙ネット討論会 政策比較表

## 区のめざすべき将来像

神沢 かずたか	高際 みゆき	永野 ひろ子
<p>多様な区民の力を合わせることで、豊かさを実感できるまち「豊島区」を目指します。</p> <p>豊島区は、池袋を中心に、街ごとにそれぞれの個性があります。</p> <p>若者も多く、国際色豊かで多様性もあります。なにより、その魅力に寄せられて集まった魅力的な人たちであふれています。</p> <p>私は、魅力的な人々の力を合わせることで、豊かさを実感できる新しい豊島区を作っていきます。</p>	<p>3つの「つながる」</p> <p>①高野区政の継承・発展、豊かな未来につながる</p> <p>②子どもや若者、女性の声につながる</p> <p>③誰も取り残さない、全ての人・企業がつながるオールとしまが軸となり、ここで暮らし、働き、活動する、全ての「ひと」が主役となる「誰もが住みたくなるまち」を目指す。</p>	<p>区民満足度、幸福度、子どもの自己肯定感が高く、地域への愛着を感じられる、ウェルビーイング都市。</p> <p>行政と民間の力の相乗効果を生み、他自治体との交流を通じて持続可能な都市経営に繋げる。</p>

# 豊島区長選挙ネット討論会 政策比較表

## 区の現状認識

神沢 かずたか	高際 みゆき	永野 ひろ子
<p><b>【成果】</b> 高野区政においては、都市開発の成功、財政構造の良化という面では大きな成果があったと言えます。</p> <p>文化を鍵とした産業振興、まちづくりでも一定の成果が見られました。</p>	<p>文化・歴史・ひと・企業の「多様性」とそれを受け入れる「懐の深さ」が豊島区の魅力。</p> <p>24年間の高野区政下において、「財政危機」「消滅可能性都市」の事態を乗り越え、「文化のまち」として発展。高野区政のレガシーを継承しつつ、少子化対策、物価高対策など、喫緊の課題に果敢に対処することが出来るかどうか重要。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・巨大ターミナル駅である池袋を抱え、商業施設や飲食店が充実している。</li><li>・同時に、池袋駅から近隣に、住宅地や古き良き文化が残る地域も残っており、様々な顔を持つ多様性のある地域である。</li><li>・人口密度が日本一である一方、高齢者と若年層の単身者割合が高い。</li></ul>

# 豊島区長選挙ネット討論会 政策比較表

## 区の解決したい課題

神沢 かずたか	高際 みゆき	永野 ひろ子
<p><b>【課題1 低い定住率】</b> 都市開発の成功により20代を中心とした人口流入が見られましたが、30代以降のほとんどの世代において区から流出が止まらないのが実情です。その意味で、終の棲家として選ばれていません。このことは多様な世代にとっての生活環境の整備が整っていないことが想定出来ます。</p> <p><b>【課題2 低い合計特殊出生率】</b> ここ数年、合計特殊出生率は23区最下位です。このことは、子育てにふさわしいまちとして選べていないことを意味しています。子どもも生まれず、定住率が低いことは、豊島区がまちとして行き乗れない可能性があることを示しています。</p>	<p>少子化、物価高などの喫緊の課題に対応しながら、コロナ禍で孤立を深めた高齢者や若年女性、ひきこもり、ヤングケアラー、ひとり親、外国籍の方など、誰一人取り残すことのないきめ細かな政策展開を行っていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ファミリー世帯が住み続けることが難しい。（住宅ストックのアンバランス）</li><li>・単身者や地域コミュニティとの関りが希薄な方があり、地域の見守りや公的サポートが行きわたらない可能性がある。</li><li>・外国ルーツの方の居住率が高い地域性のわりに、行政レベルではサポートが十分とは言えない。</li></ul>

第一優先

# 豊島区長選挙ネット討論会 政策比較表

課題を解決するための重要政策

神沢 かずたか

高際 みゆき

永野 ひろ子

課題	子育て世代が地域に根差し暮らし続けるための政策を展開し、合計特殊出生率最下位脱出を目指す。	出産・子育て支援	給食費無償化
期限	2026年前後	記載なし	2024年度内
予算	課題分析を終わった後に算定	記載なし	約6億円

手段

現状、合計特殊出生率23区最下位である。最下位から脱却するために、区政全体の全ての施策を動員する。

- ①所得などが関係なく、出産・子育て・教育に対する無償化を進めます。
- ②一時保育、保育時間の延長など、仕事の都合に併せた子育て支援を進めます。
- ③物価高、コロナ禍などに対応した、各種給付金などの各種生活支援を進めます。
- ④DX等を利活用し、場所・時間を問わず相談できる仕組みを進めます。

出産費用や区内小中学校の給食費を無償化し、経済的な不安を取り除いていく。また、0歳児を育てる家庭におむつの支援を行い、見守りとつながりを強化するとともに、「マイほいくえん」事業など、在宅での子育て支援や一時預かりを更に強化していく。望む人誰もが安心して子供を産み、育てられる環境づくりを進める。

子育て・教育費負担軽減は重要だが、どの施策を優先的に行うかの判断が伴う。給食費は、食育の観点からも重要であり負担割合の高いものであることからまず行う意義がある。一方で、豊島区では私費会計となっていることから、恒常的・安定的な制度として見るために公会計化を含めた具体的なプロセスの検討が必要である。

第二優先

# 豊島区長選挙ネット討論会 政策比較表

課題を解決するための重要政策

神沢 かずたか

高際 みゆき

永野 ひろ子

課題	再開後の安全なまちを作ります ～暖かい防犯コミュニティづくりへ	誰も取り残さない、「ひと」に 焦点を置いた施策展開	ワクチン助成（インフルエンザ 対象：中学生まで）
期限	2026年前後	記載なし	2023年10月
予算	社会実験を行いながら 予算感を検討する。	記載なし	約3000万円
手段	<p>23区内でも犯罪発生率は低い方ではありません。区民意識調査でも治安・防犯に関する不満が多く寄せられています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①女性や高齢者が一人でも安心して夜道を歩けるよう、街頭での防犯カメラの設置を進めます。</li><li>②災害時を想定し、狭あい道路や防災生活道路を広げます。</li><li>③治安をあげるために、空き家住宅対策及び老朽住宅等の建替を促進します。</li><li>④民間と連携し、区内に喫煙所を設置し、路上喫煙の抑制し分煙を進めます。</li></ul>	<p>「孤立させない」をテーマに、自分や家族が認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを進めるほか、「誰でも食堂」の拡充、高齢者でも使いやすいデジタル環境の整備、インクルーシブ教育の充実、「スクールソーシャルワーカー」の全中学校区配置、ヤングケアラーへの部門横断対応など、きめ細かな政策展開を行っていく。</p>	<p>区民の命健康を守り、社会的損失を減らすためにワクチンによる感染症の予防は有効である。新型コロナウイルス感染症拡大が未知数である中、類似の疾患についても着実に予防し、医療資源を有効に活用するため、ワクチン接種費用の助成を行い、予防啓発に努める。</p>

第三優先

# 豊島区長選挙ネット討論会 政策比較表

課題を解決するための重要政策

神沢 かずたか

高際 みゆき

永野 ひろ子

課題	高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けられるまちへ	物価高対策	災害時要援護者対策
期限	2026年前後	記載なし	2024年度内
予算	現状を分析し、実施効果の高い順から実施を行う。	記載なし	約1400万円

手段

現在、一人暮らしの高齢者の比率が区内で一番になるなど、高齢者へのきめ細やかな対応が必要です。

- ①病院・高齢者施設などの計画的な建設を進めます。
- ②介護予防などを通じて、健康寿命を伸ばします。
- ③高齢者一人一人に寄り添った相談できる場所を増やします。

出産費用や区内小中学校の給食費の無償化に加え、価格転嫁が難しい介護・障害者施設等への補助、そして経済の「要」である商店街や事業者の活動支援などを行う。

物価高に負けず、まちの活力を高めていくため、国や東京都の支援を踏まえつつ、区独自のきめ細かな支援を展開していく。

災害時要援護者の個別避難計画の策定を行い、要援護状態に応じた専門機関との連携体制づくりを行う。

介護・医療事業所との連携のもと個別具体的な対応に落とし込む。災害の種別、規模の想定によっても異なるため、個別的な対応と、マクロ的な対応両面の調整が必要。



# 豊島区長選挙ネット討論会 政策比較表

これまでの豊島区政の評価と継承点、変更点について。

神沢 かずたか

財政構造健全化・都市開発では成果。

しかし、定住、治安、コミュニティ施策では至急対応が必要です。

各種調査によると、治安対策や高齢者福祉・子育て支援などの施策では区民から評価されていません。

特に、30代以降ほとんどの世代において区から流出が止まらないなど、豊島区自体が終の棲家としては選ばれていません。

高際 みゆき

区政の評価は区民の皆様が行うものだが、「財政危機」「消滅可能性都市」の事態を乗り越え、区を「文化のまち」として発展させたのは高野区長の功績と考える。

文化を基軸としたまちづくりなど高野区政のレガシーを継承しつつ、少子化、物価高など喫緊の課題に対処しながら、施策を更に発展させていく。

永野 ひろ子

破綻寸前の財政、庁舎の移転問題、放置自転車、単身世帯の多さ、空家率の高さ、治安対策等全国ワーストと言われた課題への対応も多々求められたことに対し、積極策を講じ成果を得たことは評価点。

他方、福祉施策へより丁寧な対応が求められ、職員体制の再構築も必要と考える。



# 豊島区長選挙ネット討論会 政策比較表

区長に選ばれた場合、豊島区をどのような区にしていくのか。

神沢 かずたか

多様な区民の力を合わせることで、豊かさを実感できるまち「豊島区」を目指します。

若者も多く、国際色豊かで多様性もあります。  
なにより、その魅力に寄せられて集まった魅力的な人たちであふれています。

私は、魅力的な人々の力を合わせることで、豊かさを実感できる新しい豊島区を作っていきます。

高際 みゆき

文化・歴史・ひと・企業の「多様性」とそれを受け入れる「懐の深さ」が豊島区の魅力。

この魅力を更に伸ばす一方で、コロナ禍で深まった孤独等に焦点を当て、声なき声が埋もれることのないよう、「誰もが主役になれる」「誰も取り残さない」「誰もが安心して暮らすことのできる」まちづくりを進めていく。

永野 ひろ子

区民の負担感を軽減し、生活の満足度を上げる。特に子どもの自己肯定感を向上させ、可能性を引き出す施策に注力したい。

その結果、地域への愛着が感じられ、健康的で幸福度が高いウェルビーイング都市を目指す。また、民間活力や専門家との連携、他自治体との交流を通じて持続可能な都市経営を行う。

# 豊島区長選挙ネット討論会 政策比較表

優先課題が優先である理由と、解決する事で豊島区がどのように変わるのか。

神沢 かずたか

子育て世代が地域に根差し暮らし続けるための政策を展開します。

出会い、妊娠、出産、産後一時保育、保育時間の延長、子育てに優しい働き方支援など、ライフステージごとのきめ細やかな施策を区役所全体で取り組みます。

結果「産みたい」も「産まない」も尊重した上で、生きたいように生きられるまちの実現に取り組みます。

高際 みゆき

「子供」はまさに、未来を創る「可能性」の象徴であり、少子化対策は国家的課題として最優先で取り組まねばならない重要課題である。

未来を創る「子ども」を健やかに育むことが出来る環境づくりは、今を生きる我々の責任であり、それを成し得てこそ、まちの更なる発展、持続的成長に繋がる。

永野 ひろ子

①地域の活力を維持するには、子育て・教育負担軽減は最優先。

②コロナ感染症の状況に予断が許されない中、関連疾患対応も行い地域医療資源を有効活用する体制が急務。

③これまで施策が遅れていた災害時要援護者対策を具体化し、区民の命を守る体制が急務。

これらにより生活・健康・命を守り豊島区で暮らす安心に繋げる。